

からだの質問箱

肺炎球菌ワクチン打ちたい



以前から気管支に持病があり、昨年、かぜをこじらせて肺炎になってしまいました。最近、肺炎球菌ワクチンについて知り、接種を考えています。このワクチンについて教えてください。

(埼玉・70歳男性)

中田 紘一郎
中田クリニック院長

(東京・千代田区)

肺炎は、がん、心疾患、脳血管障害に次いで日本人の死因の第4位、しかも肺炎で亡くなる方の90%以上が65歳以上なので、高齢者には危険な病気です。

原因で最も多いのが肺炎球菌です。この菌が原因でおこる肺炎は、他の肺炎に比べて重症化しやすく、し

かも最近では抗生物質の効きにくいペニシリン耐性肺炎球菌が増えています。

肺炎にかかってから抗生物質で治療するよりも、かかる前にワクチンで予防することが重要です。インフルエンザにいろいろな型があるように、肺炎球菌にもいろいろな型があります

が、肺炎球菌ワクチンは23種類の型に効くように作られています。しかも、1回の接種で効果が5年間持続します。自費診療のため、費

接種1回で5年間有効



用は各医療機関で異なりますが、7000円〜8000円程度が多いようです。

肺炎球菌性肺炎は、風邪やインフルエンザに引き続いてかかることが多く、インフルエンザワクチンも接種しておいた方がよいでしょう。ワクチンの効果はスウェーデンの大規模な試験で実証されています。両ワクチンを接種したグループは、しなかったグループに比べて肺炎球菌性肺炎による死亡率が57%、入院率が36%減少したのです。

心臓疾患、呼吸器疾患、糖尿病、腎不全、肝疾患など基礎疾患がある方や、高齢者はワクチンを接種することを勧めます。肺炎球菌ワクチンの副作用としては、時に注射部位の腫れや痛み、まれに発熱がありますが、重い副作用は国内では報告されていません。